

桐生市立図書館整備基本構想・基本計画策定検討委員会
委嘱状交付式及び第1回委員会 議事要旨

- 1 日時 令和8年7月14日（日）午後2時30分～午後4時30分
- 2 場所 桐生市教育センター4階401会議室
- 3 出席者 委員：石川敬史（委員長）、秋山美和子（副委員長）、森末廣、吉野隆雅、糸井広江、東海藍、鈴木義史、伊原拓志、川村徳佐、齋藤直己
事務局：教育長、教育部参事、教育部長、図書館長、図書館奉仕係長、図書館調査係長、図書館建設準備室図書館建設準備係長、図書館建設準備室図書館建設準備係主任
事業者：株式会社図書館総合研究所（3名）
- 4 会議の概要
 - 1 委嘱状交付式
 - （1）開会
 - （2）委嘱状交付
 - ・小林教育長から委員へ委嘱状を交付
 - （3）教育長挨拶
 - （4）閉会
 - 2 第1回桐生市立図書館整備基本構想・基本計画策定検討委員会
 - （1）開会
 - （2）自己紹介
 - （3）委員長及び副委員長の選出
 - ・委員の互選により、委員長に石川敬史委員、副委員長に秋山美和子委員を選出
 - （4）議題
 - ①図書館整備に関する経緯と本委員会の役割について
 - ・資料1、2、追加資料1～3に基づき、事務局から説明。

- ・追加資料 1 の制定について、委員による異議なし。
- ・追加資料 1 に関する意見・質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
委員 事務局	議事録は、名前は掲載しないということでよいか。 発言者が特定されると不利益を被る可能性があるため、発言者の氏名は公表せず、発言内容を要約したものを公表する。
委員 事務局	保存資料としても載せないのか。 行政として保管する公文書では記名するが、非公開とする。
委員 事務局	守秘義務に関して、会議資料を公開する場合もあるのか。我々は団体等を代表しており、持ち帰って話をしなければいけないこともあるだろう。もう少し分かりやすく、提示してもらいたい。 現在お渡ししている資料は、原則問題ない。ただし、前段として、建替えがありきではない。まずは現状を確認し、大規模改修では対応が困難な場合、建替えの議論が始まる。その次に、場所、規模、進め方等を基本構想・基本計画に盛り込む。その際、建設予定地、時期、具体的な統合先が外に漏れると、不利益を被る可能性がある。そうした部分は原則非公開とする。委員が団体の代表である限り、フィードバック・意見集約をしてもらう前提であり、その段になったら、逐一報告する。
委員 事務局	会議は都度議事録を作成するのが前提で、その他に市民の理解促進のために適宜公開するための要約または議事録を作成するという解釈でよいか。情報公開請求があった場合も、要約または議事録の一部を公開するのか。 ご認識のとおり。議事録は非公開の文書として取り扱う。その他に要約版として、発言者が特定できない、営利目的などに結び付かない簡略化したものを議事要旨として公開予定としている。
委員長	内規について、過半数の賛成を得られたので、本内容で制定することとする。 要綱第 7 条で定める守秘義務が及ばない、図書館のサービス・理念などについては、委員がそれぞれの団体に持ち帰り、ぜひいろいろな意見をもらってほしい。

- ・資料 2 に関する意見・質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
委員 委員長	今後のスケジュールについて、かなり短いのでは。 新しい図書館を作るときは、基本構想の検討委員会、その後基本計画の検討委員会を設置するのが一般的である。基本構想・基本計画を半年あま

発言者	発言内容
事務局	りで作成するのはややタイトだと個人的には思う。事務局の考えなどあるか。 首長としては、今回の基本構想・基本計画策定にあたっては市民・団体から幅広く、今までにないほどの意見を聞いてほしいとのこと。ただ、期間に一定の目安をつける必要があり、今回は令和８年度としている。その中で意見聴取の不足がある場合は、来年度別事業として進められればと考えている。
委員	最後の第５回のときに、議論が不十分だと判断すれば、延長となるのか。簡単に進めていくのは問題があると個人的には思うので、しっかり議論を重ねてほしい。
事務局	また、話をうまく進めるためのワークショップは避けたい。ワークショップ、アンケートは大事だと思うので、しっかりやってもらいたい。 この会議の重要性は理解している。しかしながら、市では、長期的な公共施設のあり方を示す公共施設等総合管理計画の個別計画を今年度中に策定予定であり、この個別計画に今後の図書館及び複合化する施設を記載する必要があるため、令和８年度で一度は区切らせていただきたい。 また、ワークショップは、３回予定している。メンバー構成等は今後委員に諮る。アンケート、関係団体聴取は、事務局が団体選定・募集をし、個別に様々な意見を広く聴取したいと考えている。具体的には委員会の中で提案する。
委員長	ワークショップでは委員にも協力してもらおうことになると思うので、その際はぜひお力添えいただきたい。
事務局	また、今後、図書館協議会でも基本構想・計画について意見を聞く予定はあるか。 新図書館について、図書館協議会でも、昨年度、一昨年度にオフ会で議論、先進事例の視察を行っている。今後も、オフ会で団体としての意見聴取を行う形で説明・了承をいただいている。
委員長	図書館協議会としても意見があるということなので、意見を伺う機会を検討いただければと思う。

②桐生市立図書館整備基本構想・基本計画について

- ・資料３、参考資料に基づき、事務局及び事業者から説明。
- ・意見・質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
委員	桐生市は公共施設を多く建てているが、人口は減り続けている。公共施

発言者	発言内容
	設等総合管理計画で、2050 年までに 30～40%削減すると書かれていたが、削減が進んでいない。図書館のリノベーション、建替えは賛成だが、同時に公民館、集会所の削減を同時に考えるべきではないか。 小中学校の合併に伴う廃校が迫っている。それらも踏まえ、公共施設全体のグランドデザインを考えるタイミングではないか。 単一目的の公共施設は時代遅れである。図書館は、本を読むだけでなく、知識、知縁、コミュニケーションを生み出す基地になるのではないか。桐生市らしい教育を考えられる場所だとよい。 教育の中心地になるためには、自らが開放される必要がある。桐生ならではの貴重な資料はあるが、大事にしまってあり、ほとんどの人がアクセスできない。そのような中、文化を学び、ビジネスにつなげようとする人が増えている。織物に関する歴史をうまく紐解きながら観光資源につなげようとしている人もいる。この図書館を新しくすることで、新しい動き、ビジネスを考えられる場所になってほしい。
委員	自分はシリウスのある大和市出身。ある程度の人口があり、駅の近くに人が集まってできた。桐生市は桐生市で活かせる部分がある。新しく進むのか、古いものを活かすのかは、昔から桐生にいる地元の方が考えるべき。 外部の人が茶々をいれて新しくしても、桐生市の良さが活かせない。何もかも新しくしすぎると、今ある施設の良さが消えてしまう。これらについて、アンケート、ワークショップで意見をもらえるとよい。
委員	事業者からの提案は、基本的に良いと思った。図書館を新しくするとすると、おしゃれな図書館がよいなどに意見が集まりがちだが、中身重視としてほしい。自身もまちづくりの活動をする中で、ビジョン、ミッション、コンセプトを描くが、どうしてもここから先に行かない。桐生市には、他の同規模の地方都市と比べて独特な何かが潜んでいる。そこを越え、なるべく多くの人がよい図書館ができたと感じるようにしたい。一緒に協力していく。
委員長	図書館が仮にできたときに、その後も市民の協力・参画を得ながら図書館が運営されていく。そのためにも基本構想・基本計画が様々な意見を聞きながら作られて、それらの方々が図書館と一緒に作る応援団になるというようなプラスのスパイラルが実現できるとよい。

- ・資料「市民ワークショップ及びアンケートの実施について（案）」に基づき、事業者より説明。
- ・意見・質疑応答は、以下のとおり。

発言者	発言内容
委員 事業者	ワークショップをする際に男女比、年齢層についてはあらかじめ開催時に選定をするのか。 いろいろな年代の方、特に若い層には多く参加してほしいと考えている。
委員	P T A、保育協議会に所属する委員もあり、一番保護者、子どもたちの意見を吸い上げられるのは学校ではないか。2、3か月に一回のP T A会長会議では、各小中学校のP T A会長に会うので、ぜひ活用していただきたい。ワークショップは、P T A連絡協議会から数名参加できると、所属委員が来ている意味があると思う。 委員には事務局で行うアンケート、ワークショップの手伝いをしてほしいということだったが、そこまで待っているだけでよいのか。
事務局	今後、アンケートの質問項目、対象やワークショップの男女比、年齢層まで含め、事務局で原案を作成する。今回いただいた意見はとりまとめ、委員にフィードバックする。その中で、協力・協議していただきたい点について、こちらから案内する。会議前に2、3度やりとりできたら充実したものになると思う。

・委員長より、まとめ。

発言者	発言内容
委員長	1点目は新しい図書館を作る上での検討プロセスが大事ということ。市民に検討の進捗状況や内容をニュースレター、メールマガジン、ホームページといった手段で、定期的に発信できるとよい。そうすると市民も動いているということが見える。広い流れの中で、動きを外に出していくことも求められているのではないかと。 2点目に、図書館のみならず、公共施設の再編や学校の統廃合が進む中で桐生市全体での学ぶ環境をどう構築していくかという視点は重要。図書館は、建物ではなく、資料を収集・保存して市民に提供する社会的な装置である。点としての建物を建てるとともに、市内全体での学びや情報アクセスの保障、図書館網、システムをどう構築するのも今後論点になるだろう。

(5) その他

- ・アンケートやワークショップの進め方に関する追加の意見等は、7月21日（火）までにメールで事務局まで送付。事務局で意見をまとめ、後日回答する。
- ・次回の桐生市立図書館整備基本構想・基本計画策定検討委員会 9月中下旬開催予定

(詳細決定後、通知)

- ・今回の議事要旨、ホームページへの掲載内容は、事務局でまとめ、委員への確認後アップロード予定。以後、同様の流れで行う。

(6) 閉会